

ベトナムからの青年 15 名

青年研修「地元資源を活用した産業振興(観光振興)A」

7月21日より福島県内にて研修開始

「信頼で世界をつなぐ」をビジョンに掲げ、日本の政府開発援助(ODA)実施機関として開発途上国への国際協力を行っている独立行政法人国際協力機構は、アジア、アフリカ、中南米、大洋州、中東などの開発途上国の青年層を対象に、それぞれの国で必要とされている分野における日本の経験、技術を理解する基礎的な研修を行い、将来の国づくりを担う人材の育成に協力する「青年研修事業」を実施しています。

今回、東北センター(所長:花立大民、所在地:宮城県仙台市、以下:JICA 東北)では、ベトナムから若手行政官 15 名を招聘し、7月16日から7月30日まで東京都および福島県において観光振興に関する研修を行います。

研修では、双葉町にある東日本大震災・原子力災害伝承館を訪問し、語り部の話に耳を傾け、震災の爪痕、そして復興現場を見学するなどの震災からの復興を含めた福島の観光振興策について学ぶほか、福島県会津を中心に歴史ある観光スポットと知られる鶴ヶ城や大内宿、そしてスノーリゾートで有名な磐梯町を訪問し、観光の産業化について学びます。

取材をご希望の方は、下記お問い合わせ先の入力フォームを用い①氏名、②Email アドレス、③電話番号、に加え、④「お問い合わせ内容」に、「社名・部署名」、「取材スタッフの構成」、「取材希望日時・プログラム」を明記し、余裕をもってお申込みください。



【2024 年度研修の様子】

[【青年研修】地元資源を活用した産業振興\(観光振興\)／観光振興における「連携」を強化し観光客増に挑むベトナム | 日本国内での取り組み - JICA](#)

<研修概要>

研修コース名:青年研修「地元資源を活用した産業振興(観光振興)A」

来日期間:2025年7月15日~2025年8月1日(18日間)

研修参加国:ベトナム 合計 15名

【研修スケジュール】

※活動期間中は研修監理員が同行し、通訳(日本語-ベトナム語)を行います。

| 日付 | 活動内容 | 宿泊地 |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 7/15(火) | ● 来日 | 東京 |
| 7/16(水) | ● 午前 プリーフィング(於 JICA東京) ● 午後 プログラムオリエンテーション(於 同上) | 東京 |
| 7/17(木) | ● 午前 講義 観光庁からの講義 午後 講義 DXを活用した観光商品の開発(WAmazing社) | 東京 |
| 7/18(金) | ● 午前 講義 持続可能な地域づくりに観光が果たす役割(大正大学) ● 午後 視察 福島県の観光商品の視察(日本橋ふくしま館) | 東京 |
| 7/19(土) | 休日 | 東京 |
| 7/20(日) | ● 移動日(東京→福島県双葉郡双葉町) | 福島 |
| 7/21(月) | ● 午前 視察 東日本大震災・電子力災害伝承館、(株)鈴木酒造店 ● 午後 視察 旅館のおもてなしバックヤード体験(磐梯山温泉ホテル) | 福島 |
| 7/22(火) | ● 午前 講義 観光オン・オフシーズンの地域連携(磐梯山温泉ホテル) ● 午後 講義と実習 エコツーリズムボランティアガイド(裏磐梯エコツーリズム協議会)、五色沼ガイド体験 | 福島 |
| 7/23(水) | ● 午前 講義 地域の観光の取組(会津若松市) ● 午後 実習 鶴ヶ城観光案内、市民交流会・ベトナム文化紹介 | 福島 |
| 7/24(木) | ● 午前 講義 お茶体験(宮崎茶道教室) ● 午後 自主研修日 | 福島 |
| 7/25(金) | ● 午前 視察 大内宿の観光の取組(大内宿観光協会) ● 午後 視察 街中の活性化と観光との連携(七日町まちなみ協議会) 講義 ホームステイ直前日本語レッスン、ホームステイ | 福島 |
| 7/26(土) | ホームステイ | 福島 |
| 7/27(日) | ホームステイ | 福島 |
| 7/28(月) | ● 午前 講義 トレンドの作り方(日本の酒と食の旅研究家) 講義 マーケティング・広報について(素材広場) ● 午後 実習 観光プラン作成・発表 | 福島 |
| 7/29(火) | 休日(自主研修日) | 福島 |
| 7/30(水) | ● 午前 発表 アクションプラン発表会 ● 午後 評価会・閉講式・送別会 | 福島 |
| 7/31(木) | 移動日(会津若松市→東京) | 東京 |
| 8/1(金) | 帰国 | - |

■独立行政法人国際協力機構（JICA）について

JICAは、開発途上国が直面する課題を解決するため、技術協力、有償資金協力、無償資金協力など日本の政府開発援助（ODA）を一元的に担う二国間援助の実施機関で、150以上の国と地域で事業を展開しています。

国際社会の課題は日本とも密接に関係しています。国内外のパートナーと協力してそれらの解決に取り組み、世界の平和と繁栄、日本社会の更なる発展に貢献します。

詳しくは <https://www.jica.go.jp/index.html> をご覧ください。

■取材申込方法

取材をご希望の場合は、取材希望日の前日までに、下記の入力フォームを用い、①～④についてご入力いただき、お申込みください。

- ① ご氏名、
- ② Emailアドレス、
- ③ 電話番号 に加え、
- ④ 「お問い合わせ内容」欄に、「貴社名・部署名」、「取材スタッフの構成」、「取材希望日時」、「取材目的・内容」を記載

【取材申込みフォーム 及び 本件に関するお問い合わせ先】



<https://forms.office.com/r/HsCRWCg7pw>

JICA 東北 総務課 担当：大和

※直前の取材申し込みの場合、お断りする場合がございます。
予めご了承ください。